

EGOTERIC

I-03

取扱説明書

目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ございます。






エソテリック製品は、最良の音質で未永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目次	3
安全にお使いいただくために	4
お使いになる前に	7
使用上の注意	7
接 続	8
スピーカーとの接続	10
接続(プリアンプとして使用する場合)	11
各部の名称(本体)	12
各部の名称(リモコン)	13
リモコンについて	14
基本操作	15
設定 1	17
設定 2	18
困ったときは	22
仕様と寸法図	23
リアパネル	24
保証とアフターサービス	25

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグを コンセントか ら抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (26ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (26ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
 分解禁止	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
	この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (26ページに記載)にご依頼ください。 この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	この機器を設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から 15cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



強制

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のコードを使用する。

それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

電源をオフにする前に音量を最小にする。

電源をオンにしたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器は約31kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。

火災・感電やけがの原因となることがあります。

この機器の付属の電源コードを他の機器に使用しない。

故障、火災、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない。

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグを
コンセントから
抜く

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。





感電の原因となることがあります。


安全にお使いいただくために(続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 乾電池に関する注意	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 注意 電池に関する注意	
 強制	電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

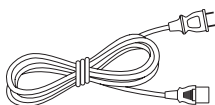
 愛情点検	電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。 5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(26ページに記載)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。
---	--

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(26ページに記載)にご連絡ください。

電源コード×1



リモコン
(RC-1251)×1



リモコン用乾電池
(単 3)×2

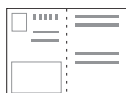


フェルト×3 枚



取扱説明書(本書)×1

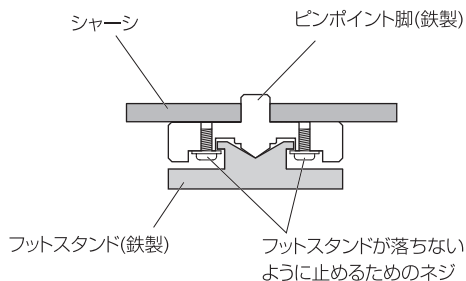
ご愛用者カード×1



設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

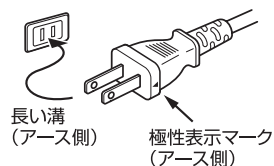
使用上の注意

- 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- CD、CD-R、カセットテープ、他のオーディオ機器など、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、他のアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

電源の極性

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

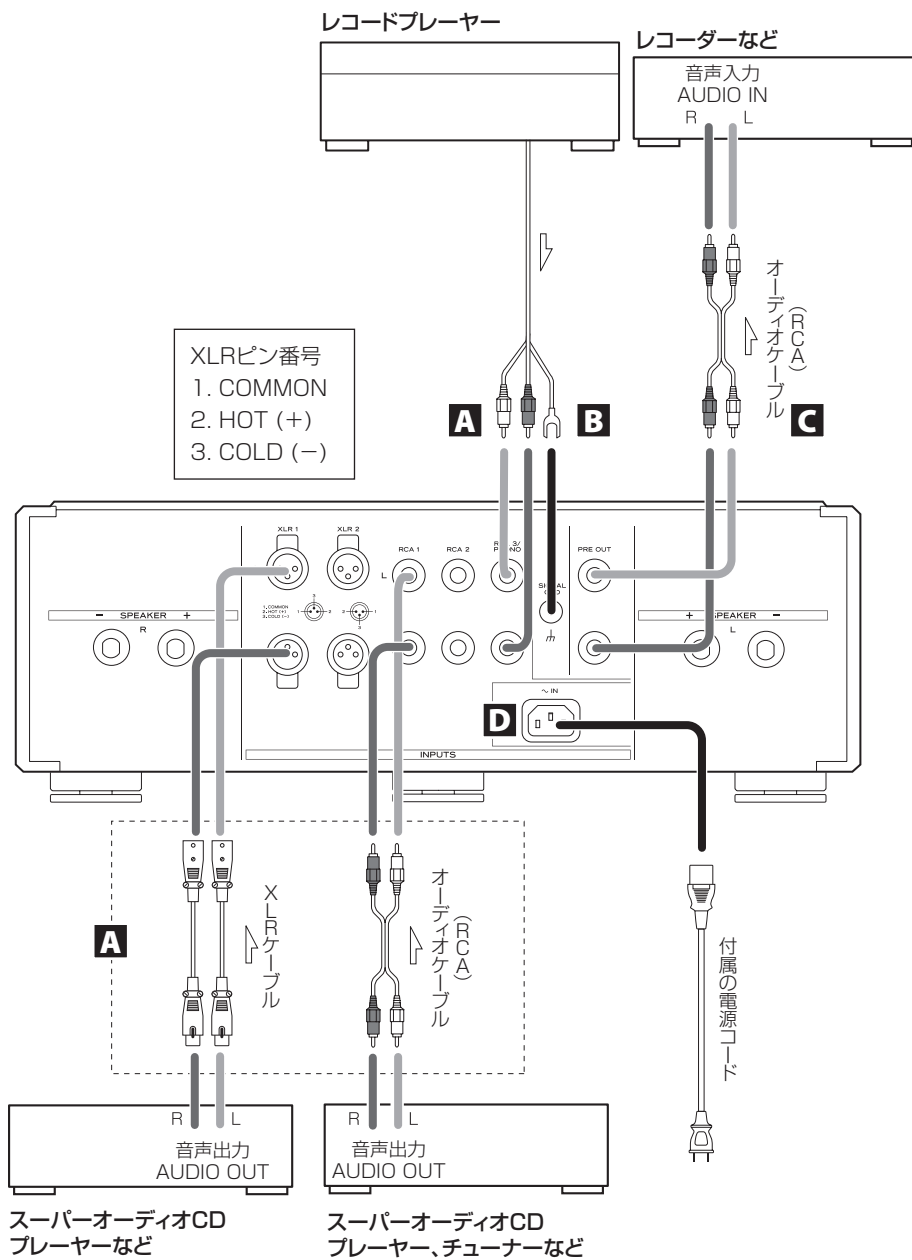
接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。



A アナログ音声入力端子 [INPUTS]

スーパーオーディオCDプレーヤーなどの音声出力端子と接続してください。

市販のバランス型XLRケーブルまたはRCAオーディオケーブルを使って、本機のR端子と再生機器のR端子、本機のL端子と再生機器のL端子をそれぞれ接続してください。

XLR： バランス型XLRケーブル

XLRバランスプラグはレバーがロックするまで差し込んでください。外すときにはレバーを押さえて抜いてください。

RCA： RCAオーディオケーブル

白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

RCA2 端子

RCA2端子を通常の入力端子として使うか、シグナルスルー端子として使うか、選択することができます。(20ページ)

「THRU」に設定すると、本機に接続したスピーカーをAVアンプのフロントスピーカーとして使う場合などに、簡単に切り換えて使うことができます。

RCA3/PHONO端子

RCA3/PHONO端子には、レコードプレーヤーを接続することもできます。

レコードプレーヤーを接続したときは、設定2のPHONO入力(RCA3)で「PHONO」に設定してください。(20ページ)

- レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。

B アース端子 [SIGNAL GND]

プレーヤーやスピーカーなどとアース接続すると、音質が良くなる場合があります。

- 安全アースではありません。
- RCA3/PHONO端子にレコードプレーヤーを接続するときは、必ず本機のアース端子をレコードプレーヤーのアースと接続してください。

C アナログ音声出力端子 [PRE OUT]

2チャンネルのアナログ音声を出力します。

市販のRCAオーディオケーブルを使ってレコーダーなどに接続してください。

- パワーアンプを接続して、本機をプリアンプとして使用する場合は、「接続(プリアンプとして使用する場合)」をご覧ください。(11ページ)
- レコーダーを接続する場合は、設定2のプリアウト出力の設定で「REC」に設定してください。(19ページ)

D ACインレット

ACインレットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

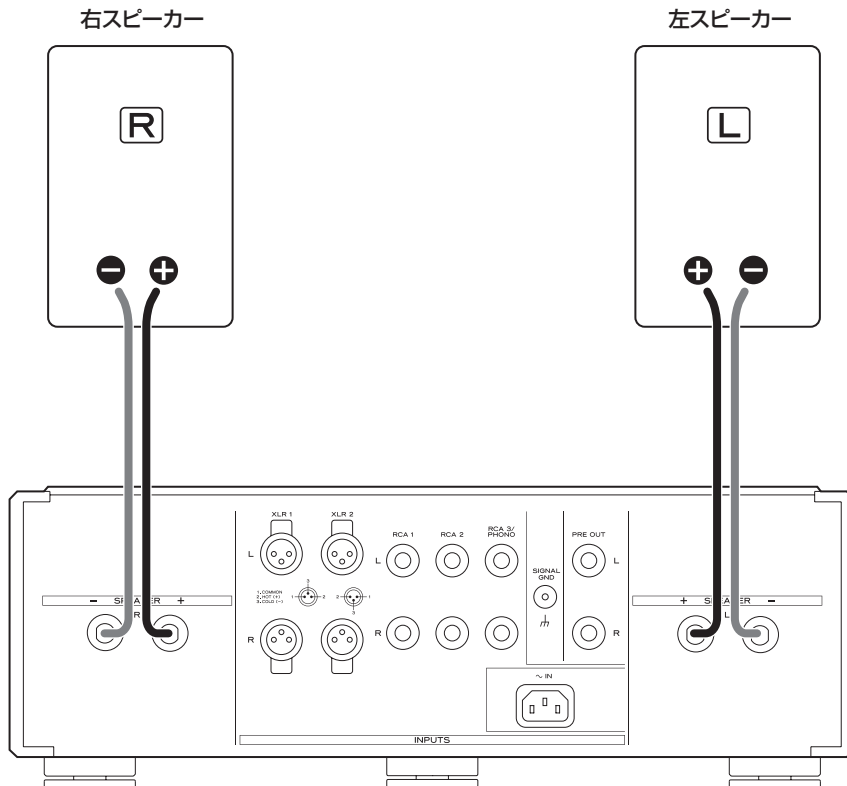
- 本機のACインレットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。

エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー 7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	スピーカーケーブル
RCAデジタルケーブル	パワーケーブル
XLRデジタルケーブル	

スピーカーとの接続



スピーカーケーブルについて

- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

接続方法

市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーの+端子同士、-端子同士を接続してください。

⚠ スピーカーケーブルの接続は、必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

- スピーカー端子のつまみは、左に回すとゆるみ、右に回すと締まります。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のコードや端子と接触すると、ショートすることがあります。故障の原因になりますので、スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

接続(プリアンプとして使用する場合)

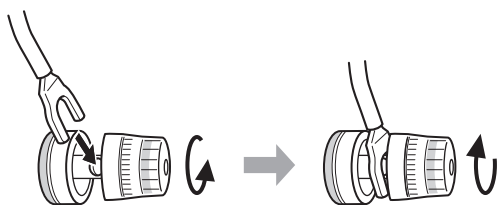
より線の場合

つまみをゆるめ、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



Yラグの場合

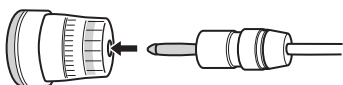
つまみをゆるめ、ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。



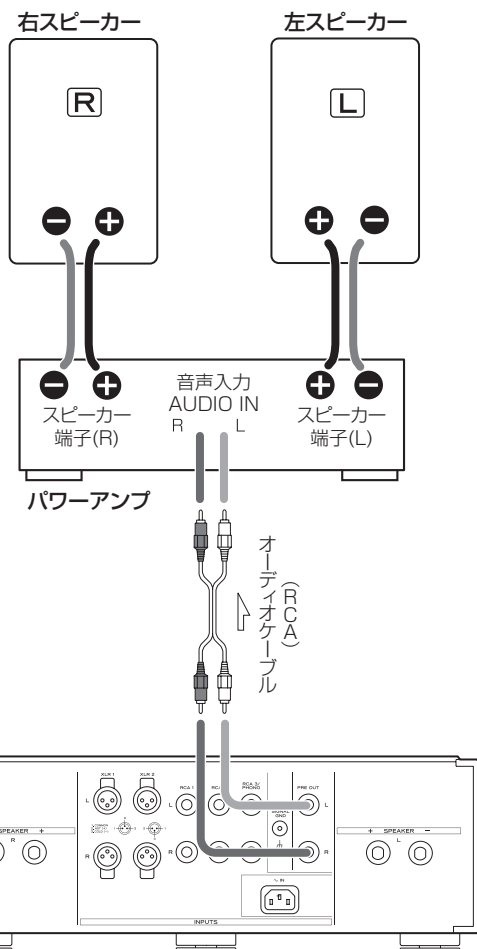
- Yラグ端子で接続する場合は、内径8mm以上のものをお使いください。

バナナプラグの場合

つまみを締めた状態で、端子正面の差し込み口に端末を差し込みます。



- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



接続

本機のプリアウト端子(PRE OUT)とパワーアンプのアナログ入力端子を、市販のRCAケーブルを使って接続します。

白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

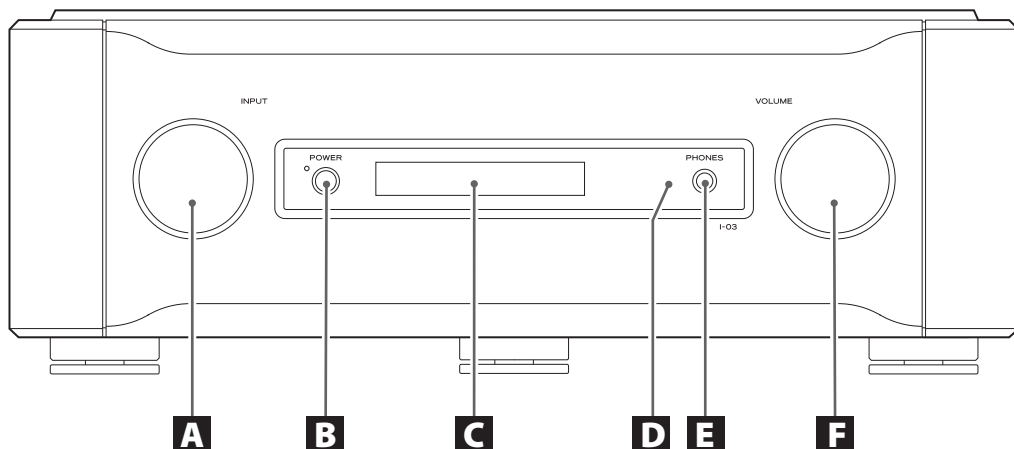
設定

設定2のプリアウト出力の設定で「ON1」または「ON2」に設定してください。(19ページ)

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

各部の名称(本体)



A 入力切替つまみ [INPUT]

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

- ディスプレーに表示される端子名は、変更したり、スキップするように設定することができます。(21ページ)

B 電源ボタン [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。

電源がオンのときは、ボタンの横のインジケーターが点灯します。

- 本機を使わないときは、電源をオフにしてください。
- スピーカーを保護するために、電源をオンまたはオフにするときは「基本操作」(15～16ページ)にある手順に従ってください。

C ディスプレー

入力ソース名、音量、設定項目などが表示されます。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(14ページ)

E ヘッドホン端子 [PHONES]

6.3mmステレオ標準プラグのヘッドホンが接続できます。

F 音量つまみ [VOLUME]

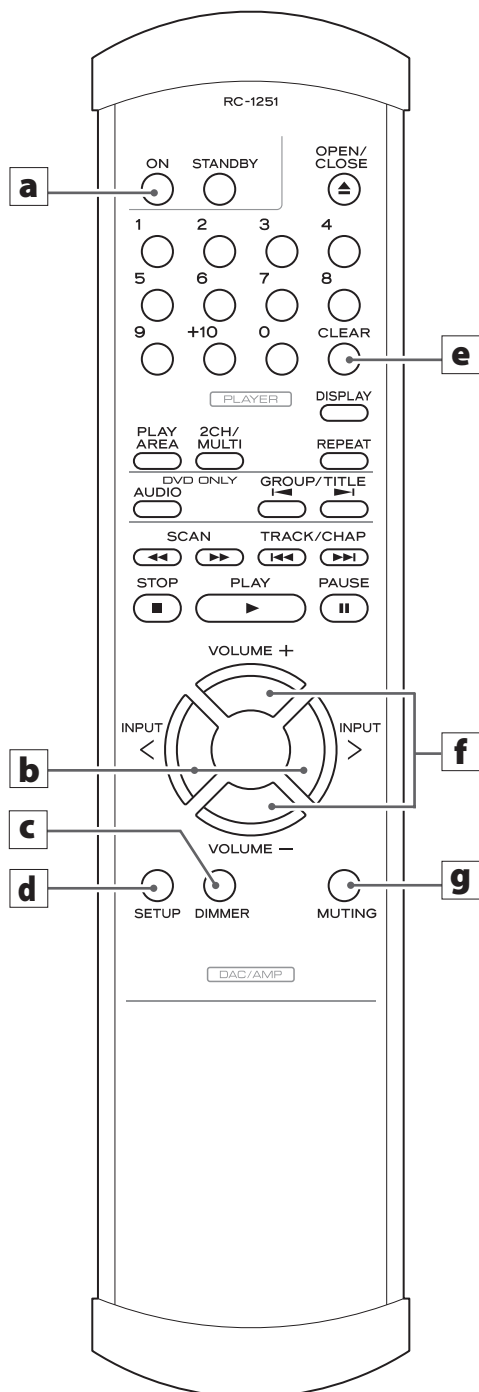
音量を調節します。

音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- トータルゲインの最大値を超えたときには、ディスプレイの音量表示が点滅します。表示が点滅しなくなるまでボリュームを下げてから使用してください。
- RCA2の入力端子を「THRU」の設定にしていると、RCA2の入力時には音量つまみ(VOLUME)は機能しません。(20ページ)

⚠ 突然大きな音が出ると、聴力障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

各部の名称(リモコン)



- 記号の指示のないボタンは本機では使用しません。
- このリモコンで他のエソテリック製品も操作することができます。

a 設定ボタン [ON]

設定2で一部の設定を決定したり、端子名を入力するときに使用します。

- 本機の電源オン/オフはできません。

b 入力切替ボタン [INPUT </>]

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

設定モードのときは、設定の変更に使います。(17、18ページ)

c ディマーボタン [DIMMER]

ディスプレイとインジケータの明るさを調節します。(16ページ)

d セットアップボタン [SETUP]

このボタンを押すと設定モードになります。設定モードのときは、設定項目を選ぶのに使います。(17、18ページ)

e クリアボタン [CLEAR]

設定モードのときは、設定モードを終了します。(17、18ページ)

f 音量ボタン [VOLUME +/-]

音量を調節します。+を押すと大きくなり、-を押すと小さくなります。

- RCA2の入力端子を「THRU」の設定にしていると、RCA2の入力時には音量ボタンは機能しません。(20ページ)

g ミュートボタン [MUTING]

一時的に音を消します。(16ページ)

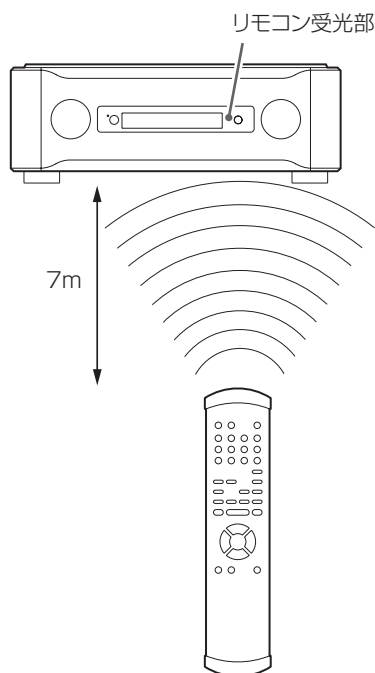
本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

リモコンについて

使用上の注意

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

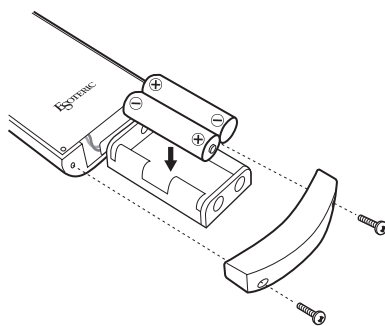
また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。



- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。

電池の入れ方

プラスドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れ、電池ケースを戻しフタを閉めてください。



電池の交換

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

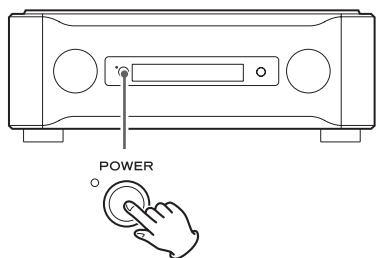
電池についての注意

⚠ 電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6ページの注意をよく読んでご使用ください。

基本操作

1 本機に接続されているソース側の機器の電源をオンにする。

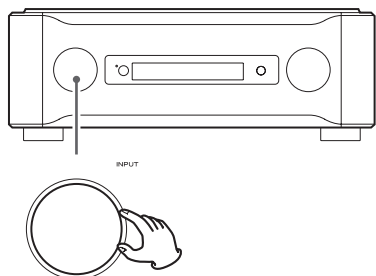
2 電源ボタン(POWER)を押して電源をオンにする。



インジケーターが青く点灯します。

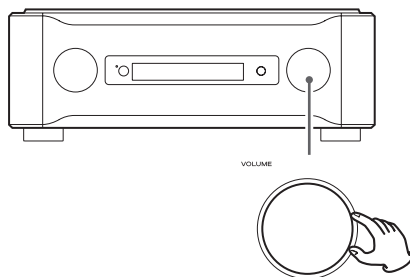
- 本機をプリアンプとして使用するときは、パワーアンプの電源を最後にオンにしてください。

3 入力切換つまみ(INPUT)を回して入力ソースを選ぶ。



- RCA3をPHONO入力として使用する場合は、設定2のPHONO入力(RCA3)を「PHONO」に設定してください。(20ページ)

4 入力ソースを再生して音量を調節する。



- ⚠ 突然大きな音が出ると、聴力障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

基本操作(続き)

電源をオフにする

不用意に電源を切るとスピーカーからノイズが出ることがあります。本機の電源をオフにするときは、以下の手順に従ってください。

1 接続した機器が再生中の場合は、再生を停止する。

- 本機をプリアンプとして使用するときには、パワーアンプの電源を最初にオフにしてください。

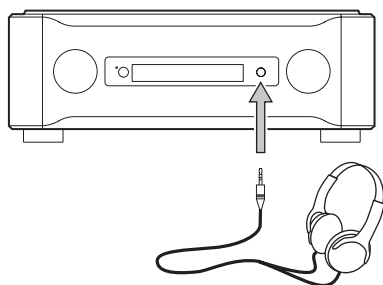
2 本機の音量つまみ(VOLUME)を回して、音量を最小にする。

- 次に電源をオンにしたときに突然大きな音が出る場合があります。必ず、電源を切る前に音量を最小にしてください。

3 本機の電源ボタン(POWER)を押して、オフにする。

4 本機に接続されているソース側の機器の電源をオフにする。

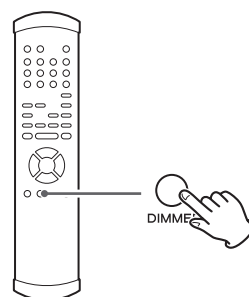
ヘッドホンで音楽を聴く



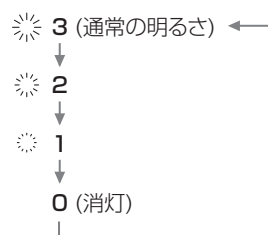
ヘッドホンプラグ(6.3mmステレオ標準タイプ)をヘッドホン端子(PHONES)に差し込み、適切な音量に調節してください。

- ⚠ ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディマー

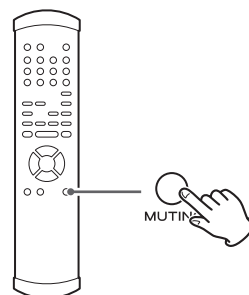


ディマーボタン(DIMMER)を押すたびに、ディスプレイとインジケーターの明るさが変わります。



- 消灯中にいずれかのボタンを押すと、3秒間だけディスプレイが通常の明るさで点灯します。
- 設定モードのときは通常の明るさで点灯します。

ミュート(消音)



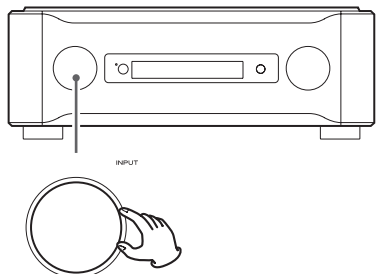
ミュートボタン(MUTING)を押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート中は、ディスプレイに「MUTING」と入カソース名が交互に表示されます。
- ミュート中に音量ボタン(VOLUME +/-)を押す、または音量つまみ(VOLUME)を回すとミュートは解除されます。

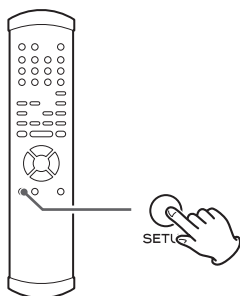
設定 1

設定1では、「左右バランス」と「出力レベル」の設定が行えます。入力端子ごとに異なる設定ができます。

1 入力切替つまみ (INPUT) を回して設定する入力ソースを選ぶ。



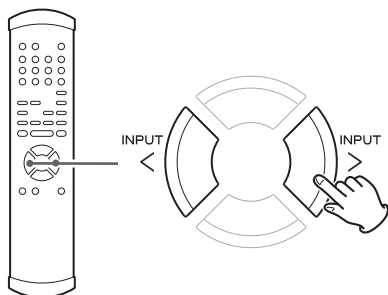
2 セットアップボタン (SETUP) をくり返し押し、変更する項目を選ぶ。



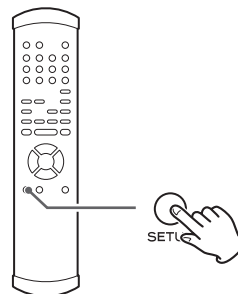
セットアップボタン (SETUP) を押す度に、ディスプレイの表示が変わります。

- 10秒以上放置するかクリアボタン (CLEAR) を押すと、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

3 入力切替ボタン (<または>) を使って、設定を変更する。



4 通常の表示になるまでセットアップボタン (SETUP) をくり返し押し、設定を終了する。



または10秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

左右バランス

Bal> * * *

出力される音声の、左右のバランスを調整します。
L6.0(dB)~R6.0(dB)の範囲で0.5dB刻みで設定できます。
出荷時は0.0(バランス調整なし)に設定されています。

出力レベル

Level> * * *

選択されている入力端子の出力レベルを調整します。
-18.0(dB)~+18.0(dB)の範囲で0.5dB刻みで設定できます。
出荷時は0.0(dB)に設定されています。

設定と音質について

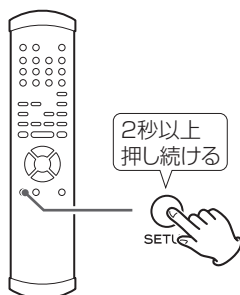
Bal(左右バランス)、Level(入力レベル)は、いずれも音量に関わる設定項目です。これらの設定とボリューム値は、総合的にマイコンで判断され、一カ所のボリュームコントロールアンプで一括制御されています。そのため、音声信号がいくつかの回路を通過してしまう一般的なアンプと異なり、設定による音質劣化はありませんのでご安心ください。

設定 2

設定2では、以下の設定が行えます。

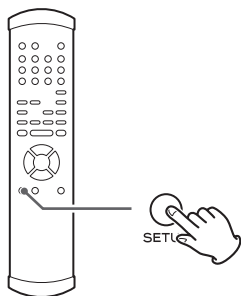
音量表示
音量カーブ
プリアウト出力
プリアウト出力レベル
スルーアウト(RCA2)
PHONO入力(RCA3)
カートリッジ
入力ソース名
自動ディスプレイ消灯
設定の初期化

1 セットアップボタン(SETUP)を2秒以上押す。



Disp>***が表示され、設定モードに入ります。

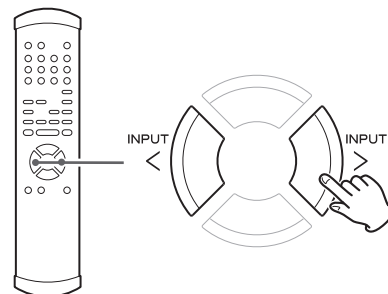
2 セットアップボタン(SETUP)をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。



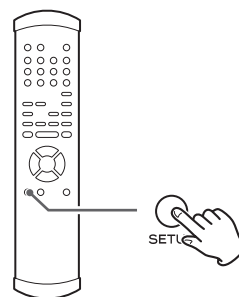
セットアップボタン(SETUP)を押す度に、ディスプレイの表示が変わります。

- 10秒以上放置するかクリアボタン(CLEAR)を押すと、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

3 入力切換ボタン(<または>)を使って、設定を変更する。



4 通常の表示になるまでセットアップボタン(SETUP)をくり返し押して、設定を終了する。



または10秒以上放置するかクリアボタン(CLEAR)を押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

音量表示

Disp>***

音量の表示方法を選択することができます。
出荷時は「Step」に設定されています。

Step

ステップ単位(0~99)で表示されます。

dB

デシベル単位(-∞~0.0dB)で表示されます。
無音(-∞)は「---」と表示されます。

音量カーブ

VolTable>***

本機では音量を-∞~0dBの範囲で割り当てた、0~99のステップで調整できます(以下音量カーブと表記)。5種類(A、B、C、D、E)の音量カーブ用意しましたので、お試しの上、お好みの音量カーブを選択してください。出荷時は「A」に設定されています。

プリアウト出力

PreOut>***

プリアウト(PRE OUT)端子の出力設定を行います。
出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

出力なし

ON1

プリアウトを出力します。本機に接続されているスピーカーとプリアウト出力接続先に接続されているスピーカーの両方から音が出ます。

本機にパワーアンプを接続し、本機のパワーアンプ部とともにバイアンプとしてお使いのときなどは、「ON1」に設定してください。

音量つまみ(VOLUME)で音量調整が可能です。

ON2

プリアウトを出力します。本機に接続されたスピーカーからは音が出ません。また本機のパワーアンプ部を停止します。

本機をプリアンプとしてお使いのときは、「ON2」に設定してください。

音量つまみ(VOLUME)で音量調整が可能です。

ヘッドホンを使用しているときは、そのまま出力します。

REC

プリアウトを出力します。音量つまみ(VOLUME)で設定した音量は無視され、音声信号がそのまま出力されます。

プリアウト出力端子にレコーダーを接続するときは、「REC」に設定してください。

プリアウト出力レベル

POutLv***

プリアウトの出力レベルの調整を行います。プリアウト出力が「ON1」、「ON2」または「REC」のときのみ、設定可能です。-18.0(dB)~+18.0(dB)の範囲で0.5dB刻みで設定できます。

設定 2(続き)

スルーアウト(RCA2)

RCA2>***

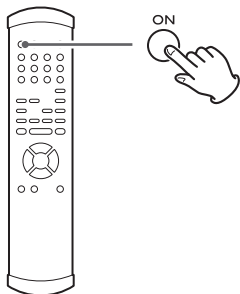
RCA2入力端子を通常の入力端子として使うか、シグナルスルー端子として使うか、選択することができます。出荷時は「NML」に設定されています。

NML(ノーマル)

通常の入力端子として使用します。

THRU(スルー)

「THRU」に設定すると、音量つまみ(VOLUME)で設定した音量は無視され、RCA2入力端子に入力された音声信号がそのまま出力されます。「THRU」を選択した後、設定ボタン(ON)を押して決定してください。



ディスプレイには、音量つまみ(VOLUME)で設定した音量の代わりに「THRU」と表示されます。

フロントスピーカーをAVアンプと共用して使う場合など、AVアンプのプリアウト端子のFRONT L/Rと接続し、RCA2を「THRU」に設定すると、RCA2を選んだときにフロントスピーカーはAVアンプのフロントスピーカーとして使うことができます。このとき、フロントスピーカーの音量はAVアンプでコントロールできます。

- RCA2の入力端子をTHRUの設定にすると、RCA2の入力時は音量つまみ(VOLUME)は機能しません。

! プレーヤーなどの音量調節できない出力端子を接続して、THRUに設定すると、本機の音量つまみ(VOLUME)が機能しないので、突然大きな音が出る場合があります。

THRUに設定するときRCA2入力端子には、必ず、プリアウト端子などの接続した側でボリュームコントロールできる端子のみを接続し、接続した機器の音量を最小にしてから切り換えてください。接続した機器の音量は徐々に上げてください。

聴力障害やスピーカー破損の原因となることがありますので、ご注意ください。

PHONO入力(RCA3)

RCA3>***

RCA3端子の入力をPHONO入力に設定することができます。出荷時は「LINE」に設定されています。

LINE

RCA3端子をLINE入力用端子として使用します。レコードプレーヤー以外の機器を接続するときは、「LINE」に設定してください。

PHONO

RCA3端子をPHONO入力用端子として使用します。レコードプレーヤーを接続するときは、「PHONO」に設定してください。

「PHONO」に設定したときは、カートリッジの設定も併せて行ってください。

! RCA3端子の入力を「PHONO」に設定したまま、レコードプレーヤー以外の機器を接続すると、大きな音が出る場合があります。レコードプレーヤー以外のものを接続ときは、必ず「LINE」を選んでください。

カートリッジ(PHONO)

MM/MC>***

使用するレコードプレーヤーのカートリッジに合わせて設定します。PHONO入力(RCA3)の設定が「PHONO」のときのみ設定可能です。出荷時は「MM」に設定されています。

MM

MMカートリッジを使用しているときは、「MM」に設定してください。

MC

MCカートリッジを使用しているときは、「MC」に設定してください。

入力ソース名

XLR1=

XLR2=

RCA1=

RCA2=

RCA3=

入力切替つまみ(INPUT)を回したときにディスプレイに表示される端子名を、あらかじめ登録された名前(CDなど)に変更したり、お好きな名前(5文字以内)にすることができます。

機器が設定されていない端子は、入力切替つまみ(INPUT)を回したときにスキップするように設定することもできます。

たとえば、RCA2端子にスーパーオーディオCDプレーヤー、RCA3端子にDVDプレーヤーを接続している場合、RCA2端子を「SACD」、RCA3端子を「DVD」、その他の端子を「*skip」に設定すると、入力切替つまみ(INPUT)を回したときに「SACD」と「DVD」だけが選択できるようになり、目的の端子を選びやすくなります。

入力切替ボタン(<または>)を押して端子名を選んでください。

選択できる端子名：CD、DAC、SACD、DVD、
CD-R、DVD-R、TAPE、MD、TUNER、PC、
MP3、AUX、TV、VIDEO、VCR、*skip (スキップ)、(自由入力)

- 全ての端子を「*skip」に設定すると、スキップは機能しません。

端子名を入力するときは

1 自由入力(初期表示は「■■■■■■」)を表示させ、設定ボタン(ON)を押す。

2 文字を入力する。

</>ボタンでカーソル位置を移動し、+/-ボタンで文字を選択します。

3 入力が終わったら設定ボタン(ON)を押して確定する。

- 名前の入力中は、音量や入力を切り換えることができません。

- 使用できる文字

アルファベット： A~Z、a~z

数字： 0~9

記号： ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ;

< = > ? @ (空白) ■

自動ディスプレイ消灯

FLaOFF>***

一定時間操作がなかったときに、自動的にディスプレイを消灯する設定を行います。出荷時は「30m」に設定されています。

15m

15分間操作のない状態が続くと、ディスプレイを自動的に消灯します。

30m

30分間操作のない状態が続くと、ディスプレイを自動的に消灯します。

60m

60分間操作のない状態が続くと、ディスプレイを自動的に消灯します。

OFF

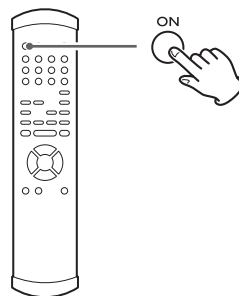
自動消灯しません。

- FL表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動ディスプレイ消灯設定を有効にすることをお勧めします。

設定の初期化

Setup>***

設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。</>ボタンで「CLR」を点滅表示させた後、設定ボタン(ON)を押して決定してください。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(26ページ)にご連絡ください。

電源が入らない

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。(15ページ)
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(14ページ)
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方に向けて操作してください。(14ページ)

テレビなどが誤動作する

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

音が出ない

- ➔ 音量つまみ(VOLUME)を回して音量を調節してください。
- ➔ スピーカーや再生機器との接続を確認してください。
- ➔ リモコンのミュートボタン(MUTING)を押してミュートを解除してください。(16ページ)
- ➔ 接続した機器の設定を確認してください。
- ➔ 本機をプリアンプとして使用している場合は、プリアウト端子の出力設定を「ON1」または「ON2」にしてください。(19ページ)
- ➔ ヘッドホンが接続されているとスピーカーから音は出ません。
- ➔ プリアンプ端子の出力設定を「ON2」にすると、本機に接続されているスピーカーから音は出ません。
- ➔ スピーカーケーブルの+と-がショートしている可能性があります。スピーカーケーブルの接続を確認してください。
- ➔ 保護回路が働くとスピーカーから音は出ません。右に記載の「保護回路について」を参考に原因を取り除いてください。

入力ソースが選べない

- ➔ 入力ソース名の設定でスキップを解除してください。(21ページ)

音量つまみ(VOLUME)が機能しない

- ➔ RCA2の入力端子をTHRUの設定にしていると、RCA2の入力時には音量つまみ(VOLUME)は機能しません。(20ページ)
- ➔ プリアウト出力の設定で、「REC」に設定すると音量つまみ(VOLUME)で設定した音量は無視され、音声信号がそのまま出力されます。
本機の音量つまみ(VOLUME)でプリアウト端子に接続した機器の音量を調整したいときは、プリアウト出力の設定を「ON1」または「ON2」にしてください。(19ページ)

音量表示が点滅する

- ➔ ボリュームコントロールの上限を超えていますので、表示が点滅しなくなるまでボリュームを下げて使用してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

保護回路について

本機には保護回路が内蔵されています。保護回路が働くと「AMP ERR!」がディスプレイに点滅します。

保護回路が働いたときは、状況に合わせて原因を取り除いてください。

スピーカーケーブルの+と-がショートしている

- ➔ 電源ボタンをオフにして、スピーカーとの接続を確認してください。

音量が大きすぎる

- ➔ 音量つまみを左に回して音量を下げてください。

内部の温度が高くなっている

- ➔ 電源ボタンをオフにして温度が下がるまでお待ちください。

また、放熱をよくするために、風通しの良い場所に設置してください。

原因を取り除いても保護回路が働く場合は、ティアック修理センター(26ページ)にご連絡ください。

仕様と寸法図

スピーカー出力

定格出力..... 240W+240W(1kHz, 6Ω)
 実用最大出力.....320W+320W(1kHz, 6Ω)(JEITA)
 全高調波歪率..... 0.03%(1kHz, 6Ω)
 周波数特性.....5Hz~70kHz(+1dB、- 3dB, 6Ω)
 S/N比.....110dB(JEITA)
 適合最小インピーダンス..... 4Ω
 スピーカー出力端子.....スクリュータイプ×1 系統

アナログ入力

端子..... RCA×3 系統
 RCA2 (AVプリ入力として使用可能)
 RCA3 (LINE/PHONO MM/PHONO MC切換)
 XLR×2 系統
 入力インピーダンス.....LINE:100kΩ
 PHONO MM:47kΩ
 PHONO MC: 100Ω

アナログ出力

端子.....RCA×1 系統
 出力インピーダンス.....470Ω

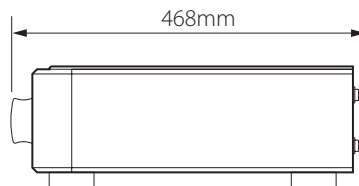
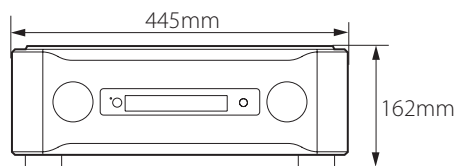
一般

電源..... 100V AC、50-60Hz
 消費電力..... 280W
 外形寸法..... 445mm×162mm×468mm
 (W×H×D、突起部を含む)
 質量......31kg
 許容動作温度..... + 5℃~+ 35℃
 許容動作湿度..... 5%~ 85%(結露のないこと)
 許容保管温度.....- 20℃~+ 55℃

付属品

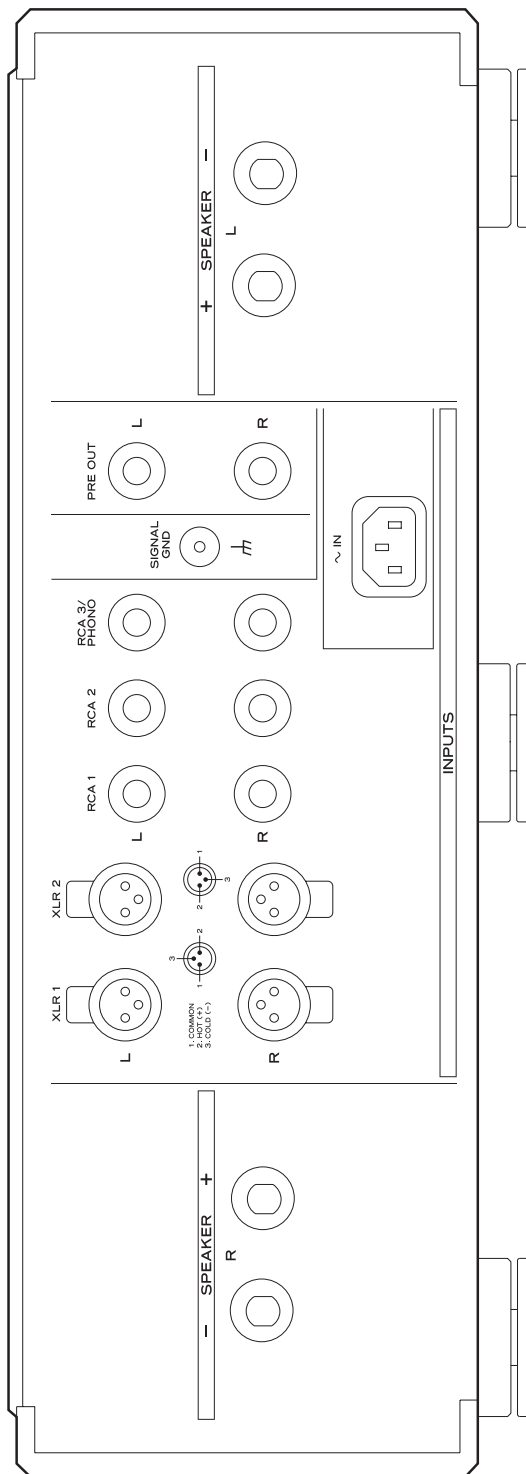
電源コード×1
 リモコン(RC-1251)×1
 リモコン用乾電池(単3)×2本
 フェルト×3枚
 取扱説明書(本書)×1
 ご愛用者カード×1

寸法図



仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

リアパネル



保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご購入者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から5年です。

- 保証書発行には約1ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合(6ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等)は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(26ページに記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

22ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(26ページに記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：インテグレートッドアンプ I-03

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用

するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



音のエチケット

エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

EGOTERIC